激変する社会環境の中、さらなる持続的成長を目指し、グループ経営理念を制定しました。

2002-2022 経営理念

一、 私たちは常に誠実であるとともに
創造と工夫に情熱と責任を持って
挑戦しつづけます

一、 地球環境の保全を指向しつつ
社会に役立つ革新的製品を
提供します

一、 お客様には心からの満足を
株主の方々には共感を
そして私たちは働く喜びを
実現していくことに
最善を尽くします

1982-2001 経営理念

創　造

わが社は活発な創造活動により
企業の繁栄と社員の幸福の道をひらく

貢　献

わが社は顧客の信頼に応え
日本と世界の産業・技術・文化の発展に貢献する

自己実現

わが社は各自が職責を自覚し
個性豊かにして多彩な能力の
発揮を期待する

1948 創業の精神

「小なりとも最優の会社となって
社会に貢献しよう」

2002
|
2022

1982
|
2001

1948

2023年制定
グループ経営理念

私たちの存在意義 | Purpose

化学と技術、そして自らの可能性に挑み、よりよい未来を創造します。

私たちの約束 | Value

誠実：社会の声に真摯に向き合い、責任をもって行動します。

挑戦：好奇心を出発点に、あらゆる事象に興味を広げ、その先の進化に挑みます。

完遂：価値創造への歩みをとめることなく、自らが誇れる成果へと、つなげていきます。

2023
|

当社グループは、創業の精神「小なりとも最優の会社となって
社会に貢献しよう」を受け継ぎながら経営理念を
その時代に合わせて進化させ、社会の発展に役立つ
技術・製品を提供することで事業を拡大してきました。
しかし、加速度的に変化する社会環境の中で
さらなる成長を果たすためには、変化に真摯に向き合い、
不確実性に臆することなく、新たな可能性に挑戦し、
社会とともに進化していくことが不可欠です。
そこで、従来の経営理念の根幹となる精神を踏襲しつつ、
グループの全役職員が共有すべき存在意義や価値観を
あらためて定義し、グループ経営理念として改定しました。
新たなグループ経営理念を実践し、
中期経営計画「Advance 2025」で掲げたビジョン
「独自の技術・製品開発力を磨き、環境・社会課題の
解決を志向した事業領域の創出と事業構造の変革により、
新たな成長軌道を築き、社会の発展とともに
成長し続ける企業集団」を目指していきます。